



赤鬼青鬼

福蔵院
1月31日(土)



豆まき

鷺宮

No. 335

地域ニュース

平成 27 年
(2015 年)
3/1

編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話:3330-4127 FAX:3330-4131

[題字は長谷川昂氏]

E-mail:nakano_saginomiya@nifty.com

http://www.nakano-saginomiya.gr.jp/

祝40周年!! 青少年育成鷺宮地区委員会



青少年育成鷺宮地区委員会(略称地区委員会)は、鷺宮地域の子供たちの健やかな成長を見守り続け、今年で40周年を迎えました。地域の小中学校の生徒が誰でも参加できるイベントには大勢の子供たちが集まり、交流の場ともなっています。今回は活発な活動を続ける地区委員会を特集しご紹介します。



中野区青少年育成鷺宮地区委員会とは

鷺宮地域で育つ子供たちの健やかな成長を願って、地域の団体や住民が連帯協力して結成した連合組織です。地域の育成活動の核となっています。中野区内には、区民活動センター単位に現在14の地区委員会があります。委員は、鷺宮地域の町会・自治会、商店会、小・中学校のPTA、各育成団体(青少年のためのスポーツや文化クラブなど、子供たちの育成活動に関わっている団体)から推薦された方々、主任児童委員、次世代育成委員、スポーツ推進員、役員会から推薦された方々など約70人です。役員会は15人で構成され、毎月1回開催しています。

子供たちが参加できるさまざまなイベント

「いもほりハイキング」…じゃがいもを掘り、地区委員お手製のカレーライスをいただきます。乳幼児親子も大勢参加しています。「ソフトボール大会」…40年前から続いています。クラスや学校の枠を超えたチームを作って参加しています。「サッカー大会」…28年前に始まり300人以上の参加者がいます。「親子研修」…最近では羽田 JAL 機体整備工場見学などが行われ、人気のイベントです。40年の間には他に「卓球大会」「写生会」「ファミリーハイキング」「ウォークラリー」など、たくさん活動がありました。他に社会を明るくする運動、鷺宮地区まつりなどへの参加・協力もしています。



40周年記念公演、40周年を祝う会

1月17日(土)午後1時半から、都立鷺宮高校で記念公演が開催されました。澤村委員長から、「ふるさとさぎのみや」で「子供とともに親も育ち合う」場面を作りたい、というお話がありました。来賓の祝辞などに続いて、「ふるさと鷺宮」にちなんだ小中学生の川柳の入選作品が表彰されました。どの作品にも鷺宮を愛する思いが現れていました。次に基調講演とパネルディスカッション「鷺宮・子どもとともに育つ街」が行われ、ものもと人による地域のつながりの大切さが話し合われました。続いて演劇集団「座・東京みかん」によるミニコンサート。ふるさとと自然を慈しむ思いにあふれた金子みすゞの普遍的世界を堪能しました。

40周年を祝う会は、午後5時から鷺宮区民活動センターで開催されました。田中区長、川崎副区長、田辺教育長はじめゆかりの方々や関係団体の方々、約70人の皆さまが参加し、地区委員会をお祝いしました。地域にお住いのヴィオラ奏者とピアニストによるミニコンサートに引き続き、長年地区委員会を支えてきたスポーツ団体に感謝状が贈られました。歓談の後は、鷺宮想い出トーク。懐かしい思い出や地区委員会へのお礼と励ましが語られました。40年という長い期間に渡る活動への感謝と、さらなる活躍への期待がこもった会でした。



挨拶する澤村委員長

鷺宮地区委員会のしくみ

役員会

研修部

- ・全体会
- ・委員研修
- ・親子研修
- ・講演会など

委員同士が学び合い子供たちに関する問題を共有する場。各団体の連携を図る。

環境部

- ・パトロール
- ・子ども安全環境マップ作成

危険箇所の点検や安全パトロールの実施。「子ども安全環境マップ」作成と配布。

広報部

- ・広報誌「若さぎ」年2回発行

子供たちのようすや子供たちに関する取り組みを紹介する「若さぎ」の作成と配布。

育成部

- ・いもほりハイキング
- ・ソフトボール大会
- ・サッカー大会

学校の枠を超えた楽しい行事とおして、子供たちに多くの体験と想い出を提供。



秋山さんの体操指導



杉山さんのお話を聞く子供たち

よい姿勢で学び、正しく物事を見て考えをもち、何事も程よい距離を保ちながら努力を続けること。つらいことを乗り越えた経験は、自分自身を振り返った時、心を豊かにしてくれていること。私も子供たちと共にオリンピックの皆様から多くを学ぶことができました。

元オリンピック女子バレーボール代表選手杉山祥子さんは、五年生との授業の中で「自分で選んだ道だからつらくても頑張りました。オリンピック代表から外された時の悔しさをバネに自分を励まし努力しました。その時の気持ちが自分を大きくしてくれました。」と、スポーツと共に生きていらいらしたその生き方についてお話してくださいました。体力向上のための活動は、体だけではなく心の豊かさにも大きな力となり、私たちに「生きる力」を与えてくれるのだと改めて気づき、胸が熱くなりました。

十一月、元オリンピック新体操日本代表選手秋山エリカさんが本校にゲストティーチャーとして来校されました。わかりやすく楽しく体づくり運動を進めながら、「オリンピックの選手には、だれもがなれる可能性があります。オリンピック選手のようなアスリートになるために大切なことは三つです。それは『よい姿勢を保てること』『しっかりと見ること』『空間認知能力を高めること』。空間認知能力とは相手との距離や今いる場所の広さや高さなどを瞬時に理解して、ちょうどいい距離を保つ力です。」とお話をしてくださいました。

鷺宮小学校が今年度大切にしていることの一つに「オリンピック教育推進校としての取り組み」を挙げることであります。オリンピック・パラリンピックを正しく知り、国際理解の推進、伝統文化の継承、そしてなんといっても体力向上を目標としています。

子供と共に学ぶ鷺宮小学校
鷺宮小学校校長 鈴木 栄子

